

2021年度 第1回京大入試実戦模試志望動向<前期>

2021/9/16

全体では、志望者数は指数 94 のやや減少。文系は指数 91 の減少、理系は指数 95 のやや減少、いずれも模試では 4 年連続減少。

文系では、増加した学部・方式はなかった。教育は指数 74 の大幅減少で、平均偏差値も 0.6 ポイントダウンで易化傾向。総合人間(文)も指数 88 の減少で、平均偏差値は文系で最も大きな 1.2 ポイントダウンで易化傾向。法は指数 90 の減少だが、平均偏差値は 0.4 ポイントアップで、易化傾向は見られない。文は指数 93、経済(文)は指数 95 でいずれもやや減少だが、平均偏差値は文が 0.5 ポイントアップ、経済(文)が 0.7 ポイントアップで、いずれも志望者の成績レベルはアップしており易化傾向はない。

法が 2 年連続で平均偏差値、A 判定ラインのいずれも経済(文)を上回った。

文系学部の理系型募集区分は募集人員が少ないこともあって極端な増減が表れやすいが、総合人間(理)が指数 115 の大幅増加で競争が激化。しかし、平均偏差値も 0.4 ポイントダウンで難化傾向はない。教育(理)は指数 92 の減少に加えて、平均偏差値は 4.4 ポイントの大幅ダウンで易化傾向。経済(理)は指数 82 の大幅減少で、前年度の模試での増加の反動が見られ、競争は緩和しており、平均偏差値も 0.8 ポイントダウンで易化傾向。

理系は、理、工はいずれも指数 98 で前年度並だが、理は平均偏差値が 0.9 ポイントアップで難化傾向。工は 0.2 ポイントアップに留まり前年度並の入試を予想。農は指数 90 の減少で競争は緩和しているが、平均偏差値には変化はない。

工の学科別では、人気の高い系統である(情報)が指数 105 で平均偏差値も 1.1 ポイントアップで難化傾向。一方で、(建築)、(電気電子工)はいずれも指数 93 のやや減少で、平均偏差値は(建築)が 0.7 ポイントダウン、(電気電子工)が 0.5 ポイントダウンでやや易化傾向。なお、B 判定ラインでは、3 年連続で(情報)が(物理工)を上回って 6 学科で最も高かった。

農の学科別では、(食料・環境経済)は指数 157 の激増で、6 学科中で唯一の増加。一方で、(応用生命科学)は指数 78 の大幅減少で、平均偏差値も 0.7 ポイントダウンで易化傾向。(食品生物科学)も指数 86 の減少で、平均偏差値も 0.6 ポイントダウンと同じく易化傾向。

メディカル系は、医(医)は指数 87 の減少だが、平均偏差値差は 1.3 ポイントアップで、最難関医学部医学科への志望者数が絞り込まれる傾向がある中で、少数激戦模様。医(人間健康科学)は指数 89 の減少で、平均偏差値も 0.4 ポイントダウンでやや易化傾向。薬が指数 91 の減少だが、平均偏差値は 0.5 ポイントアップで易化傾向はない。

2021年度 第1回京大入試実戦模試<前期> 志望状況

2021/9/16

大学	文理	学部(学科)	志望者指数		平均偏差値差	
			2021年度 /2020年度	2020年度 /2019年度	2021年度- 2020年度	2020年度- 2019年度
京大	文系	文	93	96	+0.5	-0.2
		法	90	97	+0.4	+0.5
		経済	95	89	+0.7	-0.6
		教育	74	85	-0.6	+0.5
		総合人間	88	117	-1.2	+1.3
	理系	経済	82	118	-0.8	+0.6
		教育	92	64	-4.4	+3.6
		総合人間	115	111	-0.4	+0.4
		理	98	96	+0.9	+0.1
		工	98	95	+0.2	±0.0
		医(医)	87	98	+1.3	-0.9
		医(人間)	89	87	-0.4	-0.3
		薬	91	102	+0.5	-0.9
		農	90	102	±0.0	+0.2
		文系	91	96		
		理系	95	97		
		合計	94	97		

